

■ 豊北町まちづくりクラブ キックオフミーティング

豊北地区まちづくり協議会の主催で、豊北町まちづくりクラブ キックオフミーティングが8月28日(日)に豊北町生涯学習センター大ホールを会場として開催されました。

本校から、旧生徒会長の松野健伸さんをはじめ、新旧生徒会執行部の代表とメンバー入会希望者の12名が参加しました。まちづくりクラブは、小学校5年生から高校生までを対象としたクラブです。豊北町をフィールドにいろいろな体験をしたり、仲間のためにイベントを企画したり、地域のためにボランティアを行ったりすることで、豊北町でしかつくることができない素敵な思い出をたくさんつくって、豊北魂を胸に世界に飛び出していく元気な若者を育成することを目的としています。

当日は、キックオフミーティングということで、まちづくりクラブの理念や概要について説明がありました。豊北地区まちづくり協議会の釣井さんから、まちづくりクラブのコンセプト、子どもたちのコミュニティをどのように確立するか、地域の他のコミュニティとどの様に繋がるかなど、まちづくりクラブの活動イメージが分かりやすく説明され、「こんな若者に育ってほしい!」という思いが話されました。

北高の生徒が主体となって活動する「まちづくりクラブ」を目指してまいります。



■ 一学期クラスマッチを実施しました。

8月30日(火)に一学期のクラスマッチを実施しました。本来は7月19日(火)に実施する予定でしたが、悪天候で学校が臨時休校のため中止となっていました。3年生にとっては最後のクラスマッチとなるため、2学期最初に実施することとしました。種目はバレーボール・ドッジボールと百人一首・トランプを行いました。開会式では生徒会副会長の佐伯さんが「感染対策を徹底し、怪我のないようにクラスマッチを楽しみましょう。」と挨拶をして各競技が始まりました。

クラスマッチを運営する生徒会役員は、新型コロナウイルス感染症対策として、体育館で行われるバレーボール・ドッジボールでは、観戦者は「マスク着用」「大声を出さない」「フロアではなく2階から観戦」を徹底し、武道場で行われる百人一首・トランプでは競技者のみが会場で対戦するなど、密閉・密集・密接のいわゆる3密を避け、工夫して実施しました。

また、生徒一人ひとりにスポーツドリンクを配り、麦茶を用意するなど、家庭クラブ委員の生徒が全校生徒の熱中症対策をサポートしました。

3年生は各クラスのTシャツを着て、クラスのために高校生活最後のクラスマッチに臨みました。

バレーボールでは19チームが6ブロックに分かれて予選リーグを戦い、勝ち上がった合計6チームによる決勝トーナメントが行われました。決勝は3年生同士の戦いになりました。どちらのチームも一歩も譲らない真っ向勝負となりましたが、3年1組Cチームが見事優勝を飾りました。

百人一首・トランプでは、ババ抜き、スピード、神経衰弱、七並べ、UNO、ぼうずめくり、なぞなぞ、心理テスト、百人一首と多くの競技が行われ、ポイントを重ねた岡本向日葵さんが優勝しました。

本校のクラスマッチは、クラスの団結はもとより、学年を越えた生徒の交流の場ともなっています。一心不乱に試合をする子どもたちの姿に、若いエネルギーと限りない可能性を感じます。準備から運営まで新旧生徒会執行部がリーダーシップを発揮してくれました。



■ 子ども園を訪問しました。

「地域探究」保育・福祉グループ8名が、去る9月8日(木)今年度初めて地域の子ども園を訪問しました。

コロナ禍では施設や園に訪問することが難しく、これまで控えて来ましたが、少しずつふれあいが可能になり今回1回目の訪問をしました。

13時10分こども園に到着。約1時間、4・5歳児22名とのふれあいができました。準備期間が少なく十分なふれあいはできませんでしたが保育士を目指す生徒もおり、積極的に活動しました。初めに「じゃんけん列車」でお互いに少し仲良くなったところで、3つのグループに分かれてもらい、「あいいうえおかるた」「絵合わせ」「英語で言ってみよう」など持参したカードゲームを行い、最後に園庭で駆け回り十分にふれあいました。

生徒は、子どもたちの大きなあいさつに元気もらったと話していました。一方で「遊びのルールを全員にわかるように説明するのは難しかった」などの課題にも気づく事ができました。

今後は、地域探究では、3~4回、「子どもの発達と保育」の選択者20名の授業では4回の訪問を計画しています。

学校があるこの豊北町には、公立と私立2つのこども園があり、どちらの園も本校の保育実習の支援に積極的に関わって下さり感謝しています。卒業して保育士を目指す学生が、実習先として、かつて訪問したことのあるこのこども園にお願いし、また就職先として選択肢の一つに考えていると伺い、今後も続けていこうと考えています。



■ 体育祭を開催しました。

数日間続く雨のため、雨の合間を縫って準備を進め、9月3日(土)の当日も朝7時からグラウンドの水取りを生徒、教職員が協力して行い、令和4年度体育祭を開催しました。今年のスローガンは「千紫万紅～咲かせ想いを～」で、一生懸命に頑張る姿、色とりどりの花のように個性が花開く姿を保護者の皆様に見せたいと、生徒が一丸となって頑張りました。

今年度も昨年度と同様に新型コロナウイルス感染症の予防対策のため、例年、見に来ていただいていた来賓の方々や地域の皆様についてはご招待を見合わせ、生徒のご家族の方だけをご招待して実施しました。また、感染防止のため、身体的距離の確保、マスクの着用、手洗いや用具の消毒の他、日々の健康観察、行動記録についても徹底し、オミクロン株に対応した感染対策を考えながら実施しました。そして、競技時間の短縮や競技人数を減らすなど、競技を見直し、規模を縮小して行うことにしました。

生徒は、赤・白・青の3組に分かれて対戦、入場行進の後の最初の競技、100m走から熱戦が繰り広げられました。100m走の後は5色綱奪い、台風の目、大縄跳び、綱引きとチームワークや息のあったプレーが求められる競技が続き、一瞬も目が離せない白熱した対戦でした。開始後4つ目の団体競技の途中から雨が降り出したため、いくつかの競技を割愛し、選抜リレー、応援合戦、部活動行進・リレーの順に順番を入れ替えて競技を行いました。体育祭のハイライトである応援合戦では、各組ともに、団長のリーダーシップの下、練習を積み重ね、勝利をめざして臨みました。結果は僅差で赤組が勝利を収めました。各組とも息のあった演技を披露し、観客の目を楽しませてくれました。部活動行進・リレーでは、ユニフォームに身を包んだ選手が部の名誉をかけて、雨の中を一心不乱に走る姿が見られました。

総合優勝は白組が獲得しました。充実感と達成感に輝く生徒たちの笑顔が印象的で、雨をものともせず、最初から最後まで全力で一心不乱に競技に取り組む生徒の姿は、見ている私たちを自然に感動させる、そして元気にさせる素晴らしい体育祭でした。

体育祭の最後、下関北高校の校歌をみんなで歌いました。困難な状況下にあっても、物事に真剣に取り組み、全力を尽くして頑張る姿勢は、北高生が誇れる強みであると思いました。保護者の皆様、ご声援ありがとうございました。



■ 情報モラル研修会を実施しました。

9月13日(火)の7限目にKDDIの瀬町俊彦先生による情報モラル研修会を実施しました。近年、携帯電話・スマートフォン・インターネット等の情報機器が生徒の生活の一部になりつつあります。その中で、生徒一人ひとりの利用のあり方が多様化し、保護者でさえその実態を把握することが難しくなっています。特に身近にあるスマートフォンの問題点や危険性を理解することに焦点を当てて講演をしていただきました。

今回の講演のテーマは、「子どもたちをネットトラブルから守るために」。インターネット上に一端公開された情報は容易には回収されないこと、ネット依存により多くの時間を奪われること、不用意な投稿がその後の人生を左右しかねないことなどを、3つのアニメ視聴を通じて、分かりやすくお話いただきました。

最後に瀬町先生から「高校生活は人生で一番楽しく大切です。スマホ・ネットに時間をとられたらもったいない。」と言葉をいただきました。

生徒はもちろんのこと、教員にとっても、普段のインターネットやスマホとの関わり方を見直すよい機会となりました。瀬町先生貴重なお話をありがとうございました。

